

7/2
(土)

#SDGs#食品ロス#教育#地域#資源循環

食育実践セミナー



子どもたちへの食育から地域で取り組むSDGsへ 食育と地域の小さな資源循環の実践を学ぶ



講師

武庫川女子大学 教育学部 教育学科
准教授 藤本 勇二

開催日時 2022年7月2日(土)10:00~12:00
開催方法 Zoomウェビナー
参加費用 無料
定員 500名
申込み期限 2022年6月25日(土)22時まで
参加方法 下記サイトから申込みください。※6/1より受付開始
<https://foodloss1.com/cases/180>
対象 学校・教育関係の方
以下に興味のある方
SDGs、食育、食品ロス削減、リサイクル、
資源循環、サーキュラーエコノミー

一緒に始めよう!参加しよう!

「食育×SDGs×地域」で目指す子どもたちと地域への相乗効果

食を通じた地域の小さな資源循環の物語は、子どもたちがSDGsを学ぶのに理想的です。子どもたちに地域で体験を通して学ぶ機会を作る中で、地域の取組が活性化し、好循環をもたらします。本セミナーでは、エコフィードというリサイクル飼料を題材として、資源循環と食育についての講演、食の循環に取り組む事業者の活動紹介、食育プログラムを実践してみたいという方への参加プロセスやコミュニティの紹介によって、実践の後押しを目指しています。

タイムスケジュール

10:00~10:05

開催挨拶と事務連絡

10:05~11:05

第一部 藤本勇二先生講演

11:05~11:10

休憩

11:10~11:45

第二部 資源循環の取組と食育プログラムの展開

11:45~11:55

質疑

11:55~12:00

<第一部>講演「子どもたちへの食育とSDGs、食育が現場と地域をつなぐかけはしに」

講師：武庫川女子大学 教育学部 教育学科 准教授 藤本 勇二

食育のエキスパート藤本先生に小さな地域の資源循環の重要性と食育との関係、子どもたちへのSDGsを取り入れた食育の実践事例などを伺います。畜産業を営む株式会社あずみ野エコファーム 代表取締役 川上 弾氏をゲストに、生産の現場での活動について伺います。

<第二部>資源循環の取組と食育プログラムの展開

地域での資源循環のため、どのような取組がされているのでしょうか。リサイクル事業者の(株)日本フードエコロジーセンター、食品ロスの活用事業を行う(一社)食品ロスリポーンセンターの取組を映像とインタビューで紹介します。また、エコフィードを題材とした食育プログラムについて主催の食品ロス・リポーンセンターが参加プロセスやコミュニティについて紹介します。



参加
方法

下記のイベント詳細ページURLまたは左記のQRコードからお申込みください。
イベント詳細ページ <https://foodloss1.com/cases/180>
開催の一週間前に参加URLをメールにてお送りします。
本イベントに関するお問合せは下記までお願いします。
一般社団法人食品ロス・リポーンセンター <https://foodloss1.com>

本イベントは、エコフィードの普及を目的として、農林水産省の令和4年度 畜産生産力・畜産体制強化事業補助金により実施されます。